認知症基本法施行を受けた取り組みと課題

取組1

日本介護福祉士会の取り組み

- * 介護リーダー等の養成
（講師及び指導者の養成）
認定介護福祉士の認証・認定
介護福祉士ファーストステップ研修講師
サービス提供責任者養成研修講師
- * 認定介護福祉士の認証・認定
地域共生社会での取組の推進
- * 都道府県介護福祉士会との意見交換
今後、地域の中で介護福祉士が担うべき役割
等について検討を進めている

取組2

都道府県介護福祉士会の取り組み

- * 認知症ケアにおける様々な研修事業の運営
認知症ケア等の講師の派遣（出前講座）
認知症サポーター養成等に協力
介護福祉士ファーストステップ研修の実施
- * 地域共生社会の理解の推進
今後の地域社会の理解と、地域共生社会の
考え方等を学ぶ研修の推進
- * 認定介護福祉士の養成
認知症に対する専門的ケア及び地域共生社会
での取組の推進

課題

(第18条保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等、第19条相談体制の整備等について)

1. 人材不足及び業務都合による研修参加率の低下

オンライン研修の実施が多くなった

対面による研修の要望がある

「資質の向上」に大きな課題が生じる懸念がある！

2. 認知症ケアによる介護職員のストレスの増大

ストレス発散の場が必要

虐待及び身体拘束等の予防が必要である！

3. ケア中の相談支援等の時間が取れない！

介護職員の持つ代弁機能を果たせない

利用者及び家族の思いや困りごとの相談時間の捻出が必要！